

石巻専修大学

石巻専修大学「ホームページ」
http://www.isenshu-u.ac.jp

代表電話番号
0225 (22) 7711
広報専用FAX
0225 (22) 7809

2012年頭にあって



石巻専修大学長
坂田 隆

は教室では得られない多面的な能力を身につけるとともに、教員との共同作業を通じて多くのことを教員から学ぶものと期待しています。一方で、教職員も通常の業務や研究領域から踏み出して活動をしていきますので、専門領域が広がり、教育・研究の水準が向上するものと期待しています。平成25年度に設置予定の新学部の開設と理工学部改組の準備も着々と進んでいます。震災以降、復興を支える新学部や理工学部の新学

12月にはこうした活動が文部科学省の「地域復興のためのセンター的機能整備事業」に選定されました。この事業では石巻市沿岸部の復元立地モデルの製作、被災地域の水産業及び水産加工工業支援、石巻専修大学の防災能力の強化、復興に関連した情報の発信などを行います。

新たな大学教育構築

石巻の復興共生へ

学生・教職員一丸で

新年おめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。昨年3月の東日本大震災以降、さまざまな試練が降りかかりましたが石巻専修大学は5月20日から授業を再開し、後期授業は学事暦通りの日程で進めています。また、被災地の最前線で活動する石巻専修大学は、地域とともに復興を指す「復興共生プロジェクト」を震災直後に立ち上げ、施設提供、講演会やシンポジウム、コンサート等の企画運営、被災者支援、産業支援、防災プロジェクトで活動することによって、学生諸君

復興共生プロジェクトには多くの学生が調査や研究、仮設住宅の支援などに積極的に参加しています。石巻専修大学は「実践的な教育」という目標を掲げていますが、このプロジェクトで活動することによって、学生諸君が寄せられています。こうした期待に沿うべく、努力を重ねてまいります。このように、石巻専修大学は復興共生プロジェクトをきっかけにして、新しい形の大学教育を作り上げていこうとしています。今後の皆様のご理解とご支援をお願い申し上げます。

自動車工学コースの教材にトヨタ「Yaris」

セントラル自動車(株)から寄贈

12月12日、(株)トヨタ自動車の車体の製造・販売を手掛けるセントラル自動車(株)(宮城県大衡村、葛原徹取締役社長)から、機械工学科自動車工学コースの教材として、同社が製造する小型4ドアセダン「Yaris」1台が寄贈された。同センターの山本憲一センター長(機械工学科教授)は、「車は常に進化しており、教材用車両がすぐに古くなってしまいます。今回寄贈していただいた車には、OBD(車載式故障診断システム)が搭載されてお



▲ 寄贈された「Yaris」とともに

米ロサンゼルスの上大学生ら来学

被災地訪問や日本文化など学ぶ

カリフォルニア大学ロサンゼルス校(UC L A)など米国ロサンゼルスの上大学生、大学院生ら23人が12月21日、本学を来訪した。学生らは「Terasaki Foundation」の企画で、東日本大震災の被災地を訪問し、被災の現実を知ることも、日本の風土や歴史・文化について見聞を広めることを目的に来学した。本学では震災対応に関

する坂田学長の講義を受講し被災体験やボランティア活動のプレゼンテーションなど学んだ。また、経営学部の木克昭教授、丸岡泰准教授と両教員のゼミに所属する4年次生、インターナショナル愛好会のメンバーらと交流を深めた。ゼミ生が



▲ 米・大学生来訪(日和山から市内を臨む)

らの研究助成を行っている。

「いしのまき大賞」復興支援活動で本学が特別賞に石巻市の震災復旧・復興支援に尽力したとして、本学は石巻商工会議所の第5回「いしのまき大賞」特別賞を受賞した。1月5日、石巻グランドホテルで表彰式が行われた。同賞は07年度から石巻市のPRや発展に大きく貢献した企業や団体などを表彰。今回は震災に関する支援協力企業・団体が多く推薦され、特別賞が設けられた。

石田記念財団研究奨励賞

舛井助教(経営)が受賞

経営学部の舛井道晴助教が「石田記念財団」の研究奨励賞を受賞し、12月9日に開催された研究発表会および奨励賞贈呈式で賞状と盾が授与された。研究テーマは「マルチエージェントシミュレーションを用いたネットワーク形成ゲームに関する研究」。



▲ 同財団は情報通信産業分野の研究を産学協力で進めており、宮城県

石巻専修大学合宿型就職面接対策セミナー



就職合宿セミナー

「合宿型就職面接対策セミナー」が12月17、18日の両日、宮城県松島町のホテル壮観で行われ、3年次生20人が参加した。参加者は学業のほか、震災ボランティア、大学祭、アルバイトといった学生生活で力を入れた取り組みを軸に、模擬面接

3年次生20人が参加 「自己表現力」磨く

「合宿型就職面接対策セミナー」が12月17、18日の両日、宮城県松島町のホテル壮観で行われ、3年次生20人が参加した。参加者は学業のほか、震災ボランティア、大学祭、アルバイトといった学生生活で力を入れた取り組みを軸に、模擬面接

東日本大震災の被災地を支援する文部科学省の「大学等における地域復興のためのセンター的機能整備事業」が採択された。本学では震災発生直後から学内組織として「復興共生プロジェクト」を立ち上げ、宮城県や石巻

SWO初のファミリーコンサート開催 仮設住宅の居住者も鑑賞

「吹奏楽研究会(SWO)ファミリーコンサート」が12月11日、本学学生ホールで開かれた。近くの仮設住宅の住民にも参加を呼びかけたところ、多くの聴衆が集まり、魅惑的な音色に酔いしれた。また、12月23日には経営学部・山崎泰央ゼミの学生が南境第四団地集会所で「にこにこひろばクリスマス会」を開催し、南境地区の子供たちが交流する機会を提供した。



▲ SWOのファミリーコンサート(左)と、山崎ゼミの活動の様子